

第47回 技能五輪全国大会 ウェブデザイン職種 競技課題

注意:競技前日に本競技課題を 30 %変更されたものが発表される。

目次

1	競技課題	3
2	サイト概要	3
3	課題制作要件	4
4	機材およびサーバ等仕様	7
4.1	大会競技用 PC	7
4.2	競技用サーバ	8
5	評価基準	9
5.1	評価基準概要	9
5.2	採点のための重要なお知らせ	10
6	注意事項	11
付録 A	メインメニューおよびフッタメニュー	13
A.1	公開されているメインメニュー	13
A.2	フッタメニュー	13
付録 B	講師の情報	13
付録 C	作業フロー	14
付録 D	専門分野	14

1 競技課題

競技課題:『セミナーナビ』ウェブサイトデザイン

下記の 2. サイト概要 (p.3) をみだし、3. 課題制作要件 (p.4) に従い、制限時間内に『セミナーナビ』のウェブサイトのデザインを行うこと。

競技終了時までに課題を作成し指定されたウェブサーバにアップロードして閲覧できる状態にしておくこと。指定したウェブサーバにアップロードした課題作品のみを採点するため、競技用 PC に完成した状態であっても、アップロードされない課題に対しては入賞対象から除外する。

競技終了後、作成したウェブサイトのデザインコンセプト (制作意図) などについて、各自 2 分間のプレゼンテーションを実施する。

- 注意 1) 大会指定ブラウザで必ず正しく閲覧できる状態であることを確認すること。
- 注意 2) Flash、GIF アニメーションを利用することはできる。

2 サイト概要

セミナーナビ は、講演会などのセミナー情報の公開および参加申し込みを行うウェブポータルを必要としている。このウェブサイトの目的は、事前登録してある講師が自分の専門分野に関するセミナーを登録し参加申し込みを募るためのものである。セミナーは専門分野ごとにカテゴリが分けられる。希望者は会員登録を済ませた後に、セミナーへの参加登録を行うことができる。

主なターゲットグループは講師である。講師は、希望者がセミナーに応募できるように、何よりも先にセミナーを投稿しなくてはならない。そのため、高齢の講師でも直感的に使いこなすことができるデザインのウェブサイトになるように徹底する必要がある。参加希望者は講師の次に大切なターゲットグループであるため、サイトはそのグループに対しても魅力的に思えるものでなくてはならない。ここで重要になるのは、高齢の講師と若い参加希望者の間において、デザインとユーザビリティの丁度良いバランスを見出すことである。

最終的に、このサイトは、伝統的なものから最新のものまで専門技術を広く伝えることを推進するというセミナーナビの使命の役に立つものとならなくてはならない。

このウェブサイトは、幅広い人々が閲覧できるものでなくてはならないため、基本的な操作性、アクセシビリティ、W3C (XHTML、CSS) のガイドラインに必ず準拠している必要がある。

3 課題制作要件

課題は、セミナーナビ が提供する情報とメディアを利用して、セミナーナビのイベント告知用としてのウェブポータルを一から構築することである。この情報は、テキスト、画像、文書で構成されている。

割り当てられた時間内に、選手は自分の課題を完成させるのにどの程度の情報が必要なのか決めなくてはならない。選手は必ずしも提供されるすべての情報とメディアを活用する必要はなく、各自のコンセプト・デザインをサポートするために独自の情報の追加とメディアの作成を行うことができる。

選手のウェブサイトには次にあげるデザイン要素と機能性が含まれていなくてはならない。

1. アニメーションと広告

- セミナーナビ のウェブサイトに対応しい対話式的アニメーション。少なくともトップページと組織概要のページにはアニメーションが必要。このアニメーションはセミナーナビの使命の宣言を反映したもので、かつ、サイトの目的を説明するものでなくてはならない。
- 広告にはアニメーション化した広告が 1 つ必要である。この広告を作成するための素材は広告主より用意されている。広告は、広告主のコーポレートアイデンティティに即したものであり、なおかつ、セミナーナビのサイトイメージと合致しなくてはならない。
- 広告には非アニメーションの広告も 1 つ必要である。この広告の素材も用意されている。広告は、広告主のコーポレートアイデンティティに即したものであり、なおかつ、セミナーナビのサイトイメージと合致しなくてはならない。

2. トップページ構成 :

(a) ウェブサイトの統計 :

- i. 登録している講師の数
- ii. セミナーの合計
- iii. 登録している参加希望者の数

(b) コンテンツエリアに少なくとも画像 2 枚

(c) セミナーナビのアニメーション

3. 講師セクション

- (a) 講師は email とパスワードでログインすることができる。
- (b) 講師がログアウトすることができる。
- (c) 講師がセミナー告知を投稿することができる。

セミナー告知に必要なデータ

- 講師*
- 専門分野*
- タイトル*
- 開催日時*
- 開催場所*
- 概要*
- 詳細情報*
- 講師からのコメント

*必須なフィールド

フォームの各フィールドの名前とそれを格納する DB のテーブルの列名は同じにすること。

(d) 講師は次の情報に基づき講師自身が告知したセミナーへの参加希望者の検索をセミナーごとに行うことができる。

- i. 希望者のプロフィールにあるすべての情報を対象とするキーワード検索。何もキーワードが入力されていない場合はそのセミナーへの参加希望者すべてが羅列される。
- ii. 検索結果は名前の順番でソートする。検索結果にはページネートする必要がある。
- iii. ヒットした件数を表示する必要がある。

4. 講師の情報 [付録 B を参照]

これは別途用意去れているデータを用いることができる。

5. 講師の投稿プロセス [付録 C を参照]

- (a) 講師はウェブサイトにログインしてセミナーを投稿する。専門分野ごとにカテゴリーを分ける。セミナーを投稿した後で編集することはできない。
- (b) 講師はセミナー一覧および各セミナーの参加希望者の一覧へアクセスでき、セミナーごとの希望者の CSV ファイルのダウンロードが可能である。
- (c) 講師は登録情報のうちパスワードを変更することができる。

6. 参加希望者セクション

- (a) 希望者はメールとパスワードでログインできる。
- (b) 希望者はログアウトできる。
- (c) 募集中のセミナーに応募することができる。

(d) セミナー検索

- i. データベースに格納されているセミナープロフィールのすべてのフィールドでキーワード検索を行う。
- ii. キーワードが入力されていない場合、すべてのセミナーが羅列される。
- iii. 検索結果はページネートする必要がある、ヒットした検索結果の数を返す必要がある。

(e) 参加希望者に必要なデータ：

- 名前*
- 名前 (ひらがな)*
- 電話*
- FAX
- 携帯電話
- メールアドレス (ログインユーザネームとして使用)*
- 郵便番号
- 都道府県*
- 住所*
- パスワード*
- IP アドレス (非公開フィールド)*

*必須なフィールド

フォームの各フィールドの名前とそれを格納する DB のテーブルの列名は同じにすること。

7. 参加希望者の会員機能

- (a) 参加希望者は会員登録を行う
 - (b) 会員になると各セミナーへの参加登録を行うことができる。
 - (c) 希望者は自分のパスワードを変更することができる。
8. 希望者のセミナー参加登録プロセス [付録 C を参照]
- (a) セミナーの一覧、詳細ページから参加申し込みをクリックする。
 - (b) メールとパスワードを利用してウェブサイトログインする。
会員として未登録の場合は会員登録を行う。
9. セミナー一覧
- (a) 利用者は一覧が表示される順序を選ぶことができる。(専門分野もしくは講師)
10. 管理モジュール
- (a) 管理エリアがウェブサイトの GUI に統合されている。
 - (b) 管理者は以下のユーザネーム/パスワードでログインできる
login: admin
password: 3@mA?eZsh
 - (c) 管理者はログアウトできる。
 - (d) 管理者は、講師の追加、修正、削除ができる。
11. ナビゲーション
- (a) メインの公開エリアのメニューに、メニューを追加するのに十分なスペースが必要。 [付録 A を参照]
 - (b) フッタメニュー [付録 A を参照]
 - (c) ログインと登録の機能が用意されている
12. セミナーナビ のアイデンティティ
- セミナーナビ の一貫したアイデンティティがウェブサイトの至るところに現れている。
- 補則：このアイデンティティはユニークなもので、提供されるセミナーナビのアイデンティティに即したものでなくてはならない。
13. アクセシビリティと操作性の基準：
- (a) ウェブサイトのコードが XHTML1.0 Strict に準拠している。
 - (b) img 要素において alt 属性を使用している。
 - (c) 内容やキーワードなど、title と meta 要素に独特のものを使用している。
 - (d) サイトはユーザーフレンドリーで使いやすい。
 - (e) サイトはクロスブラウザに対応している (Firefox3.5/IE7)
 - (f) エンドユーザが別のボタンでフォントの大きさを変更できるようにしている。
 - (g) レイアウトのフォーマットなどには CSS を利用している。
table 要素は表として使うのは許されるが、レイアウトに使ってはいけない。
CSS が無効化されている場合、ページのコンテンツはもとの論理構造を維持している。
 - (h) セミナー一覧の表では行番号、項目名がわかるようにしている。
 - (i) テキストと背景色に効果的なコントラストを設定している。
 - (j) サイトのルックアンドフィールを増すのにホワイトスペースを活用している。
 - (k) ナビゲーション・システムの一貫性を維持している。
 - (l) PHP, XHTML, JavaScript, CSS に内部コメントをつける。

- (m) プレゼンテーションのコード (XHTML) と構造化された関数などのコードを明確に分けている。
- (n) 印刷用の CSS を用意し、印刷時に使用できる。
- (o) フォーム入力フィールドのラベルタグを利用している。
- (p) セミナー、参加申し込みの登録フォームにおいて入力された値を検証し、その結果を知らせるメッセージを表示する。

14. セキュリティの詳細

- (a) データベースにあるすべてのパスワードを暗号化する。
- (b) PHP や MySQL コード・インジェクション対策
- (c) 各フォームにおいてフォームに入力された値の正当性を確認する。
- (d) パスワードリマインダ機能
- (e) 多重登録禁止するためメールアドレスが登録されてるか確認する。
- (f) ポストの時にダブルクリックしても登録は一回だけにする。

4 機材およびサーバ等仕様

4.1 大会競技用 PC

競技に利用する PC はデスクトップ PC である。PC には Windows XP がインストールされキーボードおよびマウスが備えられている。また PC は LAN で競技用ネットワークおよびサーバに接続されているが、インターネットにアクセスすることは出来ない。

4.1.1 アプリケーション

競技用 PC には、以下のウェブサーバ、ウェブプログラミング環境およびウェブコンテンツ作成用ソフトウェアがインストール可能な状態にあるか、インストールされている。以下のソフト以外は競技では、利用することは出来ない。また、各種サーバ、開発環境は競技の規定に従い利用することが出来る。なお、競技に利用するアプリケーションのバージョンなどは競技の際に変更する場合もあるので留意しておくこと。

- テストサーバ環境
 - － Apache 2.2.x
 - － PHP 5.2.x
 - － MySQL 5.0.x
 - － phpMyAdmin
 - － <http://www.php.net/docs.php> の日本語版マニュアル
- 画像処理ソフトウェア
 - － Adobe PhotoshopCS4
 - － Adobe IllustratorCS4
 - － Adobe FireworksCS4
- アニメーション作成ソフトウェア
 - － Adobe FlashCS4
- ウェブエディタおよびウェブコンテンツ作成ソフトウェア

- Adobe DreamweaverCS4
- テキストエディタ
 - サクラエディタ
 - Terapad
- ドキュメント作成ソフトウェア
 - OpenOffice2
- 通信・ファイル転送ソフトウェア
 - PuTTY
 - WinSCP

それぞれのソフトウェアについては、標準設定でインストールを行なっている。また、Windows XP 標準のアクセサリ、ワードパッド、メモ帳等が利用可能である。特に競技委員からの指示・説明がない場合、競技用 PC に既にインストールしてあるソフトウェアを利用することができる。またテキストエディタについては、競技者は上記ソフトウェアより選択して競技用 PC にインストールして利用することができる。デスクトップの freesoft フォルダにインストール用データが収納されている。なお、競技委員は以上のソフトウェア使用法に関わる一切の質問に対する回答、操作補助は行わない。

テストサーバ環境は XAMPP によりインストールされる。

4.1.2 ウェブブラウザ

本競技では以下を大会指定ウェブブラウザとする。

- Mozilla Firefox3.5
- Microsoft Internet Explorer 7

上記ウェブブラウザの安定番が Adobe Flash Player などとともに競技用 PC にインストールされ、利用できる状態になっている。また、Firefox には Web Developer、Firebug がインストールされており利用することができる。

4.2 競技用サーバ

競技に利用するサーバおよびネットワークは下記の仕様となる。競技者は各自与えられた ID、パスワード、権限に基づいて以下のサービスを利用することが可能である。

表 1 競技用サーバ上のサービス一覧

ウェブサーバ	Apache 2.2.x	通信	SSH
ウェブプログラミング	PHP 5.2.x	ネットワーク	DNS
データベース	MySQL 5.0.x	Validator	HTML/CSS Validator
DB 支援	phpMyAdmin	Validator	HTML/CSS Validator

競技用サーバは、ウェブサーバ、ウェブプログラミング環境ネットワークにより利用することができる。また、各種サーバ、開発環境は競技の規定に従い、利用することが出来る。

Apache、PHP、MySQL については競技用 PC にもインストールされているが、競技用 PC の環境はあく

までもテスト環境である。競技用サーバについては共用サーバとなるため、設定ファイルの変更はできない。

それぞれのサーバサービスについて競技者は利用することが可能である。特に競技委員からの指示・説明がない場合、与えられた権限の範囲で各種サーバサービスを利用したウェブサイトを構築することが可能である。なお、競技実施中は競技委員はサーバの使用に関わる一切の質問に対する回答、操作補助は行わない。

5 評価基準

5.1 評価基準概要

1. コンセプト (必須)

- コンテンツの内容を理解し、内容に見合った、技術、デザインが行われているか
- 自分なりのアイディアを持ちデザインを行っているか

2. HTML/XHTML(必須)

- W3C(World Wide Web Consortium) による勧告に、出来る限り準ずること
- 論理的なマークアップが行われているか
- 適切に構造化されているか
- 技術仕様にしたがって適切にページを作成することが出来るか

3. CSS(必須)

- リンキング (外部) スタイルシートを使用しているか
- CSS が適切に使用されているか

4. GIF/JPEG/PNG(必須)

- 画質、階調、圧縮技術などのウェブ用画像ファイルについての知識があり最適化が行われているか
- GIF/JPEG/PNG 各フォーマットの特徴を理解し、適切に使い分けることが出来ているか

5. インタフェースデザイン・ユーザビリティ (必須)

- ユーザビリティに配慮しているか
- 配色、ボタンなど各要素のサイズなどが適切か
- 使いやすい情報デザインがなされているか

6. レイアウト (必須)

- 情報伝達の目的を達成するためにコンテンツの文章、画像について構成がよく考えられたレイアウトであるか

7. 計画性 (必須)

- 要求を満たし、情報が漏れなく構築され完成された状態になっているか
- サーバにアップロードされウェブブラウザで閲覧できる状態になっているか

8. プレゼンテーション (必須)

- プレゼンテーションが行われ要旨が明確に伝達されたか

9. クリエイティビティ (加点)

- 使用されている画像などの表現方法に独創性・創造性があるか
- コンテンツを特徴づける為の努力がされ、魅力に富んでいるサイトになっているか

10. アクセシビリティ (加点)

- アクセシビリティに配慮しているか

- JIS X8341-3(および WCAG 等) を特に意識した制作がなされているか
- ウェブスタンダード (WaSP による Web Standard) の考えに基づいているか

5.2 採点のための重要なお知らせ

- 競技委員モニターに表示して採点する。
- デザインやスクリーンショットは、デスクトップ上にコンセプトフォルダを作成し、そこに確実に保存する。
- 文書には読みやすいように名前、座席番号を書くこと。
- トップページおよびセミナー一覧ページのデザインの画像。[ファイル名は画像は homepage.jpg list.jpg という名前にする]
セミナー一覧には最低でも 3 件のセミナーが載っていること。(これには提供されている材料を使う必要はない)
- ターゲットグループ、サイトの目的、使用したタイポグラフィーと色を選んだ理由。
- トップページワイヤーフレームやストーリーボードのスケッチを手書きで提出する。
- プランニングに関するすべてのファイルはデスクトップ上のコンセプトフォルダに保存すること。作業内容はすべてこのフォルダにあるもので評価する。他の場所に保存されているものは評価しない。
- すべてのファイルはサーバ上に保存すること。作業内容はすべてサーバにあるもので評価する。競技用 PC に保存されているものは評価しない。
- データベースのダンプは user0XX.sql という名前で デスクトップ上のコンセプトフォルダにおいておく。

6 注意事項

1. 筆記用具は、大会主催者より提供を行なう。また、和英、英和辞書について持込を許可する。手荷物等については、持込を許可するが、競技に関係のないものなどについては、(辞書機能などを内蔵した物品、ポケットベル、携帯電話等) 競技中に利用することは出来ない。机上に置けるものは、筆記用具・時計 (必要であれば目薬) 等とする。また競技中、水分補給の為にペットボトル等の閉栓可能な飲料などの持ち込みに関しては会場の指示に従うこと。また飲料が原因でトラブル等が発生しても競技委員は一切、関知しない。
2. 計時については、競技用 PC の時計で確認するのではなく、競技委員に説明された計時機器等を利用すること。また、競技の際には、1 時間経過、2 時間経過、3 時間経過、競技終了 10 分前、競技終了 5 分前、競技終了 1 分前に競技委員からアナウンスを行なう。
3. 服装等は、競技にふさわしいものを着用すること。空調等の問題もあるため若干の寒暖の変動に対処できるように留意すること。
4. 競技用 PC については、事前にその動作を確認しておくこと。また、会場下見の際に競技用サーバの接続等設定等について説明を行うので接続方法、操作方法について必ず確認を行うこと。また、その際、各自環境設定のための時間を与えるので、PC の環境設定等を行うこと。
5. 競技用 PC から、インターネット (競技用ネットワーク外) へアクセスすることはできない。
6. 事前に作成した独自のテンプレートや素材を利用することはできない。
7. 大会主催者が用意するソフトウェアに標準の状態インストールされている、素材データやテンプレートについては、各自の判断で利用することは許可する。
8. 競技中に用具の貸し借り、PC およびデータの交換は禁止する。
9. USB 方式のキーボードおよびマウスについては、ドライバを新規で組み込む必要のないものに限っては持込を許可する。その他の入力デバイス (タブレット等) については、持ち込みは不可とする。また、持込する入力機器については競技者各自の責任とし、競技用 PC で動作しない、不安定になる場合等もあるため、選手各自で判断すること。競技委員は一切の責任を持たない。
10. 他選手の競技を妨害する行為をしないこと。
11. 機器等のトラブルが発生した場合は、挙手をして競技委員または関係者に待ち時間の記録をしてもらうこと。なお、この際に作業はしてはならない。また、競技用 PC がトラブルで作成中に停止 (フリーズ) した場合、その停止時間も測定する。作業が上記理由等で行なえない場合、その繰越分は、競技終了時に連続して行なう事とする。プレゼンテーションの順番および割当て時間を越える場合には別途、競技委員により協議をおこない変更する場合がある。
12. 競技用 PC のトラブルにより作成中のデータが失われる場合もあるため、各自データの保存やバックアップについて留意して作業を行なうこと。作成中のデータに関しては、競技用 PC のハードディスクおよび競技用サーバ、データ保存用のメディアとして USB メモリ (64MB 以上を各競技用 PC に設置) が利用できるため、以上のデータ保存可能な場所にデータを適宜バックアップすることを推奨する。
13. 制限時間内に作業完了した場合、「作業完了」と挙手をし、競技委員に意思表示を行なうこと。
14. 競技中に不正があった場合、また、競技委員に不正を指摘された場合、選手はすべての作業を中止して退場すること。
15. 競技中のトイレについては各自適宜行なう。その際は必ず競技委員に申し出ること。なお、所要時間につ

いては作業時間に含まれる。

16. 安全衛生上の観点から各自、作業中に適当な休憩を取ること。その際に競技会場からの退出は禁止する。また他の競技者の妨害とならないように注意すること。
17. 選手はトイレ又は休憩、昼食時には、PC をログオフやロックするなど、アプリケーション等の操作画面、ブラウザなどが表示されないよう配慮すること。
18. 選手は昼食時、競技課題及び内容に関して、監督者及び他の競技参加選手と会話することはできない。
19. 制作した課題の著作権は大会主催者である中央職業能力開発協会に帰属する。しかし制作した著作物の引用の責任については制作者側にあるものとする。

付録 A メインメニューおよびフッタメニュー

A.1 公開されているメインメニュー

- HOME(トップページ)
- 組織概要
 - セミナーナビ
- セミナー登録
 - 使い方
 - セミナー登録
- セミナー検索
 - セミナー検索
 - セミナー参加申し込み
- ユーザ登録
- 問い合わせ先

A.2 フッタメニュー

- プライバシーポリシー
- 著作権
- リーガル

それぞれリンクを作成すること。

付録 B 講師の情報

講師の情報には以下のものが含まれる。

- 氏名
- ふりがな
- 生年月日
- 座右の銘
- 写真のファイル名
- パスワード

付録 C 作業フロー

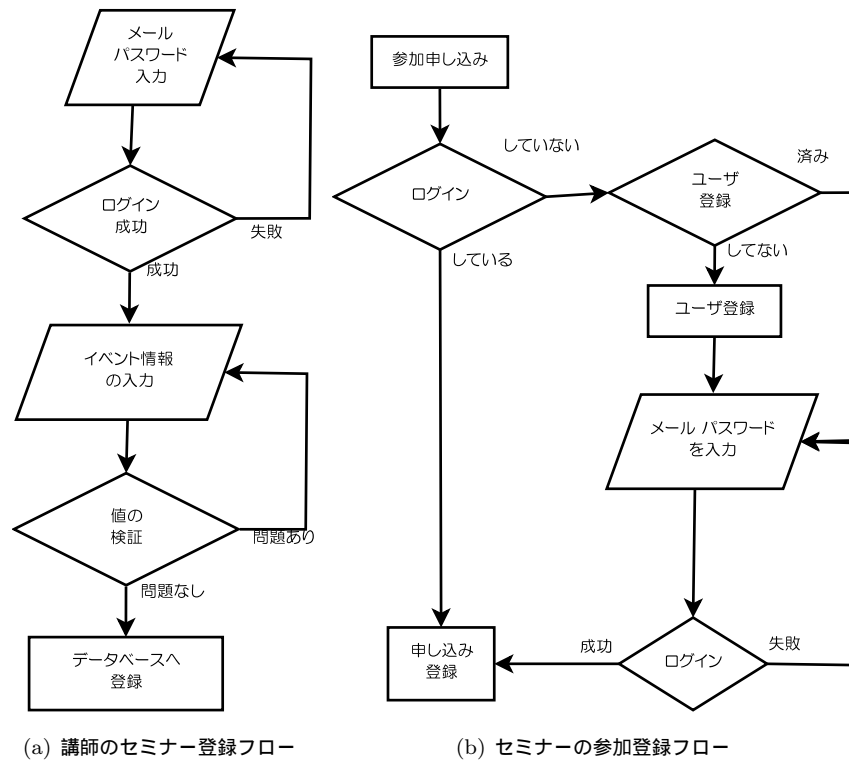


図 1 作業フロー

付録 D 専門分野

1. 印刷
2. 写真
3. DTP
4. ウェブデザイン